

# 中国語の使役表現“V得C”に見られる先行文脈との結束性について —グローバル構文の視点から—

## 1. 問題提起

中国語には、述詞性成分が構造助詞“得”を伴い補語を後続する形式、“得”動補構造(以下“V得C”)がある。本発表は、“V得C”の中でも“V”と“C”が原因と結果の関係にある使役用法を研究対象とする(以下、原文の下線は“V得C”、四角は“V得”、日訳の下線及び四角はそれぞれ“V得C”と“V得”に対応する箇所。日訳内の丸括弧は筆者による補足)。

(1) 毡巴说道,得了罢王二,你别装了。这儿就咱们两个人。这话说得我二二忽忽(以下省略)(革命时期的爱情/王小波)

毡巴(人名)は「もういいよ王二(人名)、知らないふりをしなくても。今は我々2人だけなんだから。」と言った。(毡巴が)その言葉を言ったせいで、私(=王二)は、ためらってしまった。

使役用法“V得C”の意味構造は、ある事象が別の事象を引き起こしたという二つの事象間の使役関係として捉えることができる。原因事象は“V得”及び“V得”に先行して生起する名詞性成分(以下“NP”。尚“NP”は生起しない場合もある)によって言語化され、結果事象は“C”によって言語化される。

(NP)	+	V得	+	C
原因事象				結果事象

“V得C”は、文脈への依存度が極めて高い形式であると言える。杉村(1995)は、“V得”が先行文脈における“…le”(波線)を承前する照応形式であると指摘している。

(2) 你哥哥拉了贝多芬的奏鸣曲,他拉得真好!(杉村 1995:51)

あなたのお兄さんはベートーベンの奏鳴曲を弾いた。彼が弾いたのはとても良かった。

この場合“拉得”に対する解釈は、先行文脈“你哥哥～奏鳴曲”を前提として初めて可能となる。

また、本発表が対象とする使役用法“V得C”(以下“V得C”と略称)の場合、“NP+V得”によって言語化される原因事象は、先行文脈から承前した旧情報である。例えば、(1)における“说得”は“说道”(述べた)(波線)との間に、また“NP”である“这话”(その言葉)は発話(二重線)との間に語彙的照応関係を結んでいる。

(1) 毡巴说道，得了罢王二，你别装了。这儿就咱们两个人。这话说得我二二忽忽(以下省略)

即ち、原因事象“这话说得”に対する解釈は、先行文脈を前提としないかぎり困難である。

## 2. 研究の目的

本発表は、“V 得 C”に見られるこのような先行文脈に対する依存性の高さに着目し、先行文脈と“V 得 C”から成る隣接対を「グローバル構文」(global construction)(山梨 2009:236)と規定する。即ち、中国語母語話者は、“V 得 C”を単独で習得しているのではなく、「先行文脈と“V 得 C”」という隣接対のグローバルな構文として習得していると考ええる。

その上で、このグローバル構文が担う意味の中核となる、“(NP)+V 得”と先行文脈との結束パターンを明らかにすることを目的とする。また、その結束パターンに見られる多様性について、認知的拡張という観点から体系的に論じる。

## 3. 結束性のパターンと認知的拡張

結束パターンについては、概略、先行文脈と“(NP)+V 得”の間に語彙的結束性が「認められる場合」(タイプ A)と、「認められない場合」(タイプ B)の 2 つに分類する。そして、更に下位分類を行う。(1)はタイプ A を、(3)はタイプ B を代表する例である。

(3) 过了河，走进沙漠，上天似乎有意惩罚他的恶行：他把水掺到酒里，自己却忘了带水，  
啃了两天干饼子，弄得唇裂口燥，两眼昏花。

川を渡って、砂漠に入ると、神はまるで彼の悪行を罰しているかのようにだった。彼は水を酒に混ぜたが、それを忘れてきてしまった。2 日間乾いたビスケットをかじり、(その結果)唇は割れ口は渴き、両目はかすんでしまった。(河的子孙/张贤亮)

次に、タイプ A は、先行文脈の一部を原因事象としてプロファイルしており、これに対して、タイプ B は先行文脈全体を原因事象としてプロファイルしていることを指摘する。

例えば(1)’の場合、先行文脈のうち主要述語“说道”とその行為対象である発話を原因事象としてプロファイルしている。(3)の場合は、“NP”が生起しておらず、また“V”は意味の虚化した代動詞“弄”である。従って、先行文脈全体を原因事象としてプロファイルしていると解釈される。

以上の分析を踏まえ、結束性に見られる多様性は、先行文脈に対する「局所的な焦点化」から「包括的な焦点化」への拡張といった「焦点化の反転」の結果立ち現れた現象であると結論づける。

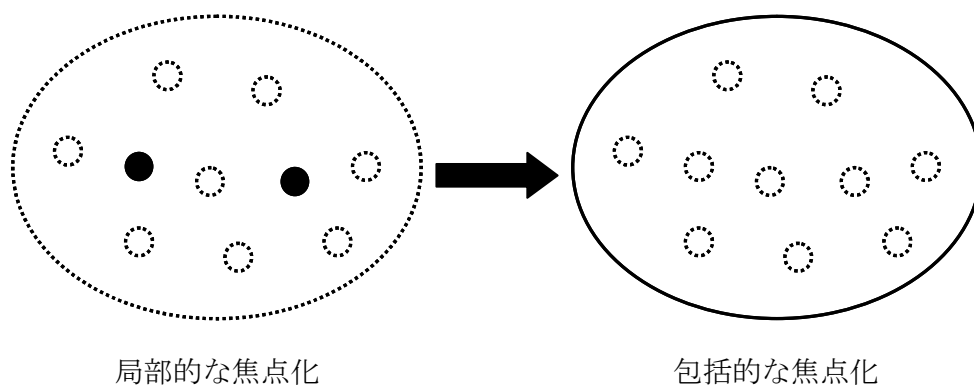


図1 先行文脈に対する焦点化の反転

以上が議論の概略である。議論の過程においては、結束性に関わる提喻等の認知能力についても言及する。また、タイプBの生起頻度が顕著に高いという言語現象を挙げ、“V得”が接続詞と近似した機能を果たす傾向にあることを指摘する。

#### 主要参考文献

杉村博文 1995 「中国語における動詞句・形容詞句の承前形式」, 『語学研究大会論集 3』, 大東文化大学語学教育研究所.

山梨正明 2009 「第6章 語用論からみた構文現象の諸相」, 『認知構文論』, 211-272, 大修館書店.

Halliday, Michael A. K. 1994 *Introduction to Functional Grammar*, 2nd ed. London: Edward Arnold. (山口登・笈寿雄訳 2001 「9 節のまわりに 結束性と談話」, 『機能文法概説: ハリデー理論への誘い』, 483-534, くろしお出版.)